

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち				
施策	健康に暮らせるまちづくり				
基本施策	地域医療の充実				
取り組み事項	地域医療体制を充実させる				
主管部局	健康福祉部 子育て元気課	関連部局			

めざす暮らしの姿

地域医療の充実

基本方針

誰もがいつでも安心して、必要なときに必要な医療を受けることができるよう受診機会の確保に努める。また、県、医師会、関係機関などと連携を図りながら、生活に密着した医療と、入院及び専門的医療を提供する2次医療を踏まえながら、地域医療及び救急医療体制の充実を図る。

施策の方針

医療圏域内で入院治療及び専門的な医療を提供する2次医療の位置付けを踏まえながら、地域医療体制の充実を図る。また、かかりつけ医を持つことについての啓発を行う。産科、小児科については、播磨姫路圏域(西播磨地域及び中播磨地域)で協議を重ね、医療体制の充実を推進する。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.04	0.02	0.09	0.21	0.09	0.09
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	271,462	152,997	583,911	1,470,814	630,349	630,349
事業費計	29,089,809	3,778,843	21,448,554	26,234,000	21,448,554	21,448,554
フルコスト	29,361,271	3,931,840	22,032,465	27,704,814	22,078,903	22,078,903

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金				220,000	0	0
特定県支出金	916,000		719,000	719,000	719,000	719,000
特定市債					0	0
特定その他					0	0
一般財源1	28,445,271	3,931,840	21,313,465	26,765,814	21,359,903	21,359,903
一般財源2	28,173,809	3,778,843	20,729,554	25,295,000	20,729,554	20,729,554

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	一次救急実施率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	100	100	100	100	100	100
単年度実績値	100	100	100			
単年度達成率	100%	100%	100%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	一次救急実施率
前年度との比較	→: 維持
所見	日曜祝日の一次救急医療機関を確保できた。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
救急医療施設運営事業	
保健衛生総務費事務経費	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
一次救急実施率	100%	→:維持	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	100%	高	A:順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	医師会への実施委託により、体制を整えることができた。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい
構成事務事業に課題はないか	ある 市内のクリニックだけでは、一次救急の全日数を確保できないので、二次救急を行っている病院を当番に入れている。
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している 一次救急の受け入れ先がなくなれば、二次救急、三次救急への圧迫等影響があるため、このまま体制を維持する。
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	
今年度の成果等	令和5年度は74日間で610件を受け入れた。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち		
施策	健康に暮らせるまちづくり		
基本施策	地域医療の充実		
取り組み事項	地域医療に貢献できる人を育成する		
主管部局	健康福祉部 看護専門学校	関連部局	

めざす暮らしの姿

地域医療の充実

基本方針

誰もがいつでも安心して、必要なときに必要な医療を受けることができるよう受診機会の確保に努めます。
また、県、医師会、関係機関などと連携を図りながら、生活に密着した医療と、入院及び専門的医療を提供する2次医療を踏まえながら、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。

施策の方針

看護・介護サービスの拡充の必要性が高まることが予想される中、時代の要請に応じた専門性を持った優秀な人材を育成します。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	10.0	10.0	11.08	12.0	11.08	10.0
会計年度任用職員数	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費計	67,865,560	76,498,770	73,384,201	85,956,571	79,513,001	71,948,810
事業費計	290,762,226	329,726,632	411,659,157	2,287,304,000	225,841,000	127,068,000
フルコスト	358,627,786	406,225,402	485,043,358	2,373,260,571	305,354,001	199,016,810

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金					0	0
特定県支出金		14,820,000			0	0
財市債		47,600,000	67,600,000	1,607,000,000	24,600,000	0
源その他	41,151,130	40,494,000	40,103,000	40,962,000	39,922,000	40,000,000
一般財源1	317,476,656	303,311,402	377,340,358	725,298,571	240,832,001	159,016,810
一般財源2	249,611,096	226,812,632	303,956,157	639,342,000	161,319,000	87,068,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【質】看護師国家試験の合格率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	100	100	100	100	100	100
単年度実績値	100	96.5	88.6			
単年度達成率	100%	96.5%	88.6%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【質】看護師国家試験の合格率
前年度との比較	↓: 低下
所見	合格者が35人中31人、不合格者4人で合格率88.6%となったが、全国平均87.8%を上回っている。 指導方法の改善、国家試験の出題傾向の把握に努め、全員合格を目指す。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
看護専門学校特別会計事業	
公債費利子償還事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
【質】看護師国家試験の合格率	88.6%	↓:低下	
受験者数	71%	↓:低下	
西播磨医療圏域及び姫路市内	115%	↑:向上	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	91.53%	中	B:おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	35人中4人が不合格となったが、全国平均は上回ることができた。 優秀な学生確保のため、オープンキャンパスや進学説明会等、積極的なPRに努める。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	いいえ
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	入学試験の出願者数は前年度より37人、34.3%の減となった。 また、卒業生35人のうち31人が看護師国家試験に合格し、35人全員が医療機関に就職した。
今年度の成果等	県内の高校を対象に進学説明会を42回実施し、オープンキャンパスを5日間、8回実施し、184人の来場があった。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち				
施策	健康に暮らせるまちづくり				
基本施策	地域医療の充実				
取り組み事項	安定した市民病院運営を行う				
主管部局	市民病院 市民病院	関連部局			

めざす暮らしの姿

地域医療の充実

基本方針

誰もが住み慣れた地域で安心して医療が受けられるよう、患者やご家族に寄り添った医療の提供を行う。また、病院理念に基づき、医療の質の向上、効率的な運営に取り組み、公立病院としての使命と役割を果たす。

施策の方針

地域に密着した医療を適正かつ安定的に提供するために継続的に経営改革に取り組む。また、地域医療構想への対応を含め、地域の医療機関やクリニック、介護施設、ケアマネなど関係機関と連携を図り、市民の健康を支える。
--

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.0	0.0	0.0	0.0		
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0		
人件費計	0	0	0	0	0	0
事業費計	0	0	0	0	0	0
フルコスト	0	0	0	0	0	0

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金					0	0
県支出金					0	0
市債					0	0
その他					0	0
一般財源1	0	0	0	0	0	0
一般財源2	0	0	0	0	0	0

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	経常収支比率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	103.6	103.6	103.6	96.9	94.1	94.1
単年度実績値	99.2	96.1	98.5			
単年度達成率	95.75%	92.76%	95.07%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	経常収支比率
前年度との比較	↑: 向上
所見	患者数の減により医業収益が減少し、資金不足が懸念されたため、一般会計から追加で繰入を行った。それにより医業外収益が増えたことで経常収支比率が2.4ポイント上昇した。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

[illegible]

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
経常収支比率	95.07%	↑: 向上	
医業収支比率	82.61%	↓: 低下	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	88.84%	中	C: 努力を要する
	達成状況の原因分析、説明等		
新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、コロナ禍前の患者数の回復を目指したが、患者数の増には至らなかった。資金不足が生じ、一般会計からの追加繰入により経常収支比率が上昇したが、今年度事業活動の増進により経常収支比率が改善された。			

(2)施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	いいえ 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、院内感染のリスクを防止するため、引き続き発熱外来を実施するとともに、コロナ患者病床を確保し、受け入れをおこなったが患者の増には繋がらず、経営状況は改善しなかった。
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	C:課題があり、対策する必要がある
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	患者の減少により医業収益が減少したため、資金不足が生じ、一般会計から繰入金の追加を行った。今後、地域連携室が中心となって、地域の医療機関や診療所、介護施設、ケアマネ等の関係機関と連携し、地域で医療を必要とする患者の受け皿となり、患者の確保を行うことで経営改善を行っていききたい。
今年度の成果等	市内に不足する婦人科外来を週1回開設し、患者サービスの向上を図った。コロナ対応としては、引き続き発熱外来を行うとともに、コロナ病床を確保し、自宅療養が困難な患者の受け入れを行った。また、訪問診療や患者無料送迎サービスなど在宅医療の充実により、在宅で安心して医療を受けられる体制に努めた。
第三者評価委員会意見	

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	030401020001	事務事業名	看護専門学校運営事業			
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	健康に暮らせるまちづくり			
基本施策	地域医療の充実	取り組み事項	地域医療に貢献できる人を育成する			
部名	健康福祉部	課名	看護専門学校			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	看護・介護サービスの拡充という時代の要請に応じた専門性を持った優秀な人材を育成するため、入学試験受験者数の確保及び看護師国家試験の合格率の向上を図った。					
対象	看護師を目指す学生が、看護師養成校に求めるニーズ					
目的	地域社会に貢献し得る看護師を育成するために学生が学習しやすい環境作りをし、ひいては市のPR、活性化に貢献する。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令	法律・政令・省令					
	保健師助産師看護師法及び学校教育法					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	10.0	10.0	11.08	11.4	11.08	10.0
会計年度任用職員数	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費計	67,865,560	76,498,770	73,384,201	81,754,243	79,513,001	71,948,810
事業費計	171,426,953	189,989,679	273,207,047	1,966,654,000	225,841,000	127,068,000
フルコスト	239,292,513	266,488,449	346,591,248	2,048,408,243	305,354,001	199,016,810

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	47,600,000	67,600,000	1,607,000,000	24,600,000
	その他	41,151,130	40,494,000	40,103,000	40,962,000	39,922,000
フルコストー特定財源		198,141,383	178,394,449	238,888,248	400,446,243	240,832,001
事業費計ー特定財源		130,275,823	101,895,679	165,504,047	318,692,000	161,319,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】看護師国家試験の合格率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	100	100	100	100	100	100
単年度実績値	100	96.5	88.6			
前年比	—	96.5%	91.81%	—	—	—
単年度達成率	100%	96.5%	88.6%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		学生一人あたりのフルコスト				
単位		円／人				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	2,392,925.13	2,664,884.49	3,465,912.48	20,484,082.43	3,053,540.01	1,990,168.1
単年度実績値	2,392,925.13	2,761,538.3316	3,911,865.1016			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	受験者数は優秀な人材の確保の機会が増加し、結果的に合格率向上につながる。	あり
有効性	A:有効性が高い	優秀な医療従事者を育成することにより、市民の生命を守ることにつながり、地域社会への貢献度も高まる。	なし
効率性	B:比較的効率的である	教職員は最低限の人数で運営しており、教員の質の向上によりコスト抑制を図っている。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	市内又は西播磨圏域、姫路市の医療機関への就職者の確保することで地域医療の充実につなげている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	市内イベントへの学生ボランティアの参加に取り組み、地域との交流を図っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3)方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	看護師国家試験の合格率は高い水準を維持しているが、出願者は平成25年度をピークに減少傾向にある。 優秀な学生確保の対策として、入試制度の改革やオープンキャンパスの拡充等に引き続き取り組みとともに、新校舎建設事業を円滑に進め、教育環境の向上を図る。
休止・廃止となったときの影響	市民が利用する医療機関への看護師就職者が減少し、医療体制が後退するおそれがある。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	看護師国家試験の合格率は、全国平均を超える高い合格率を維持しているが、令和5年度においては4名が不合格となっており、全員合格に向け継続して国家試験対策に取り組んでいく。 現在、令和8年度の運用開始に向け、校舎の建替え事業を進めており、校舎更新による教育環境の向上により受験生への訴求力を高めていく。